

朝来市景況調査書

令和5年度 第4四半期

(調査対象：令和6年1月～3月)

朝来市商工会

令和6年5月

【目次】

1. 景況調査について	2
2. 朝来市の景況推移（直近6回の調査）	4
3. 業種ごとの集計	4
①建設業（有効調査書数：29件）	5
②製造業（有効調査書数：36件）	7
③小売業（有効調査書数：42件）	10
④サービス業（有効調査書数：64件（内、飲食店：11件、宿泊業8件））	13
（参考文献）	19

I. 景況調査

1. 景況調査について

○本調査書作成の目的

朝来市内事業者が主要商圈とする朝来市地域、但馬地域、及び兵庫県内の経済動向を調査し、市内の業種別産業構造を把握することで、効果的な将来予測、及び経営計画の策定等に繋げることを目的とします。

○本調査書の作成方法

朝来市商工会の会員事業所に対して「調査票」の記入を依頼、回収したデータを基に、他の調査や情報を比較して調査書を作成します。

○『D.I.』について

D. I. とは、景気の各項目事項について、「良い」と感じている企業の割合から、「悪い」と感じている企業の割合を引いた値を示します。右の表の場合、
「良い」20% - 「悪い」30% = ▲10%
となり、D. I. 値は▲10ポイントと示すことができます。

業況	件数	構成比
良い	10 件	20%
不変	25 件	50%
悪い	15 件	30%
合計	50 件	100%

○参考とする調査書と有効回答数について

本調査書の作成にあたり、株式会社みなと銀行が四半期毎に実施する「兵庫県内中小企業の景況調査」、および但馬信用金庫が四半期毎に実施する「但馬管内の景気動向調査」の調査結果を参照しています。

(対象期間(R6. 1~3 月)における有効回答数)

	建設業	製造業	小売業	サービス業
兵庫県内中小企業の景況調査 (株みなと銀行)	305	399	113	126
但馬管内の景気動向調査 (但馬信用金庫)	316	405	108	124
朝来市景況調査書 (朝来市商工会)	29	36	42	64

○業種の分類について

本調査書では、朝来市内事業所における卸売業は「小売業」とあわせて集計しています。

◆令和3年度調査からの変更点◆

<①実施時期について>

令和2年まで、朝来市内の景況調査は1年間に「上期(1月～3月)」、「下期(7月～9月)」の計2回実施しておりましたが、令和3年度より四半期ごとに実施いたします。

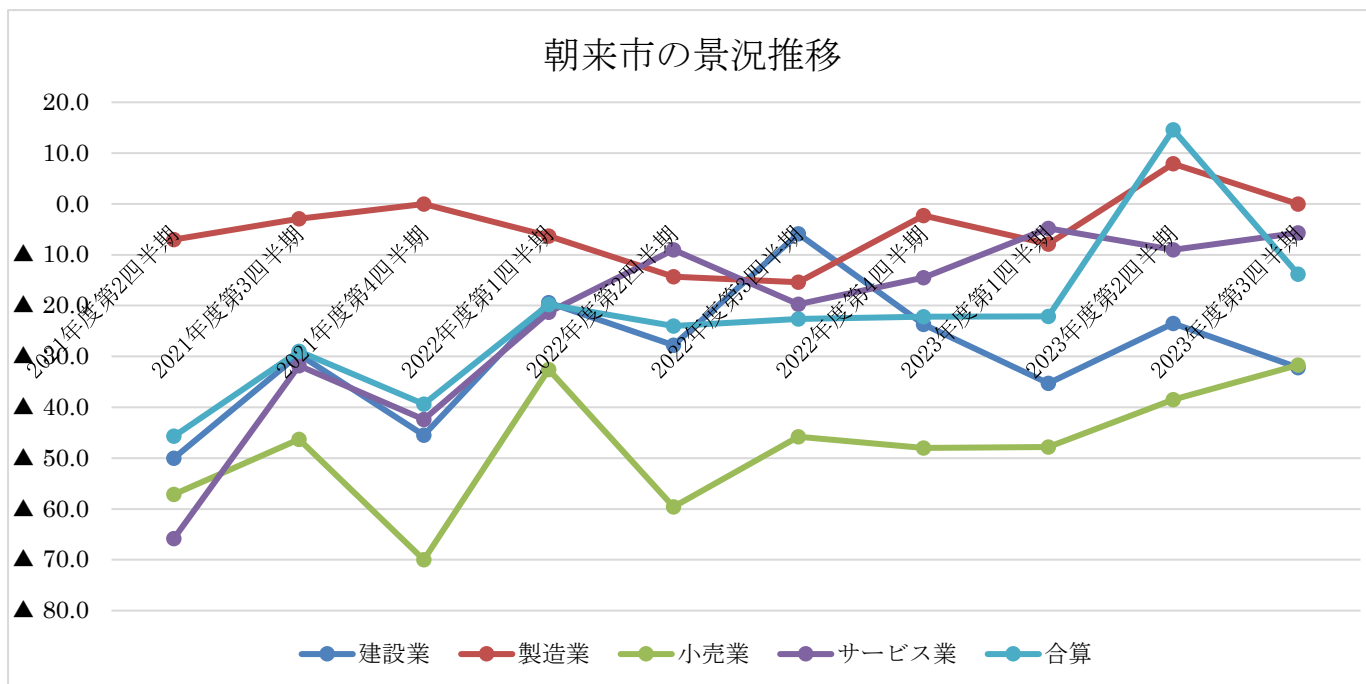
<②サービス業の区分>

今年度よりサービス業全体に加えて、「飲食店のみ」、「宿泊業のみ」のD.I.値も計算しております。詳しくは「サービス業」の調査結果ページにてご確認ください。

<③部門ごとのD.I.値>

製造業、卸売・小売業についてもサービス業と同様、複数回答を得られた業種から、細かく分類しD.I.値を掲載しています。

2. 朝来市の景況推移



	2022年度 第3四半期 (R4. 10~12月)	2022年度 第4四半期 (R5. 1~3月)	2023年度 第1四半期 (R5. 4~6月)	2023年度 第2四半期 (R5. 7~9月)	2023年度 第3四半期 (R5. 10~12月)	2023年度 第4四半期 (R6. 1~3月)
建設業	▲5.8 (34件)	▲23.6 (38件)	▲35.3 (34件)	▲23.5 (34件)	▲32.2 (31件)	▲44.8 (29件)
製造業	▲15.4 (39件)	▲2.3 (44件)	▲7.9 (38件)	7.9 (38件)	2.4 (42件)	0.0 (36件)
小売業	▲45.8 (48件)	▲48.0 (50件)	▲47.8 (46件)	▲38.5 (39件)	▲35.9 (39件)	▲50.0 (42件)
サービス業	▲19.7 (71件)	▲14.5 (62件)	▲4.8 (63件)	▲9.0 (67件)	▲5.7 (71件)	▲6.3 (64件)
合算	▲22.6 (192件)	▲22.2 (194件)	▲22.1 (181件)	▲14.6 (178件)	▲14.8 (183件)	▲22.2 (171件)

(※回答数 175 件、うち業況未回答 4 件)

直近 6 回の調査における「業況 (自業種の景気動向)」の集計結果の推移を示しています。表の上段の数値は D. I. 値、下段の数値はその時の集計件数を示しています。

プラス値に近い D. I. 値となったのは製造業とサービス業であり、小売業はマイナスとなったものの回復傾向にあります。

3. 業種ごとの集計

①建設業（有効調査書数：29件）

○昨年(1月～3月)と比較して、今期の業況はいかがですか？（※業況未回答2件）

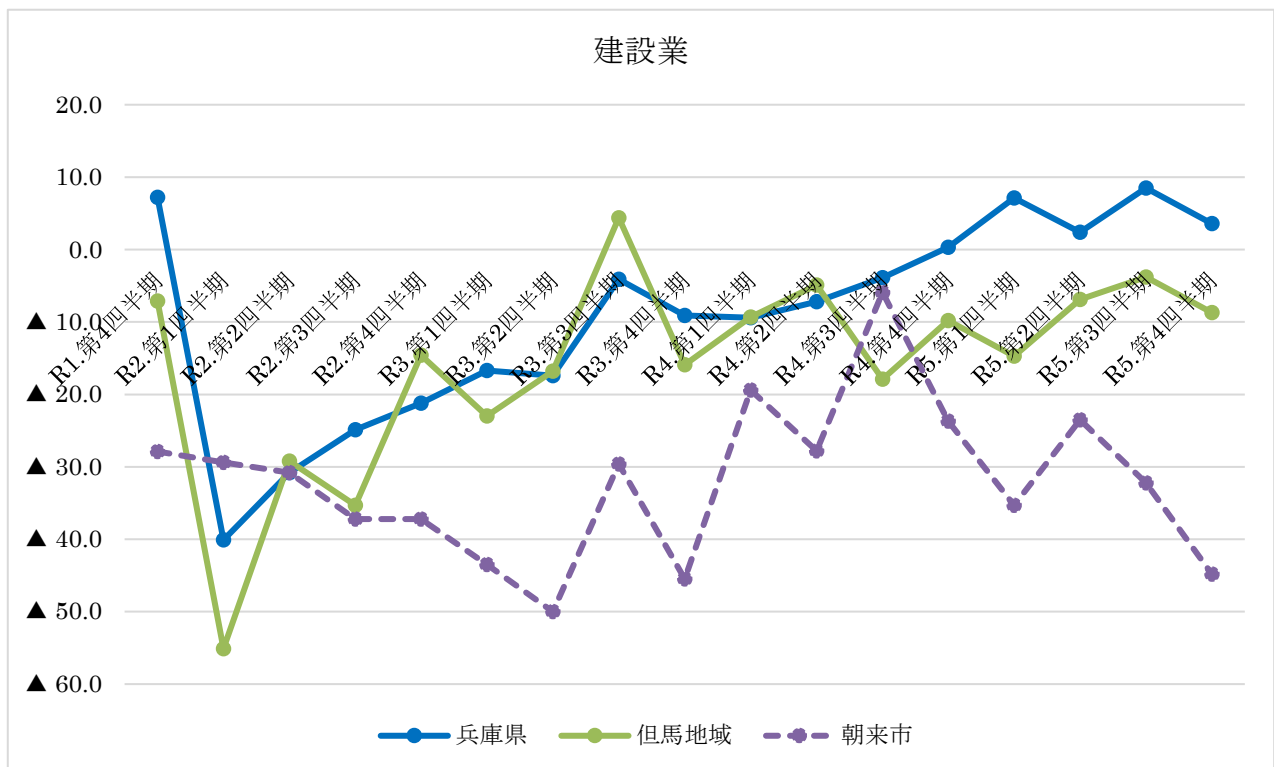
	件数	構成比
好転	2件	6.9%
不変	12件	41.4%
悪化	15件	51.7%

「悪化」の回答が増加し、D.I. 値も若干の減少を見せました。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	3.6ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲8.7ポイント
朝来市	▲44.8ポイント

兵庫県全域はプラス値、但馬地域と朝来市はマイナス値となり、但馬全域と朝来市の差も大きくなっています。

○建設業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期(9～12月)、R3年1期(1～3月)の調査未実施のため、中間点を計上

兵庫県・但馬地域・朝来市ともに前回調査より減少となりましたが、特に朝来市の減少は二期連続かつ減少値も大きくなっています。

○経営上の問題点（建設業－朝来市）

	2023 年度第 1 四半期	2023 年度第 2 四半期	2023 年度第 3 四半期	2023 年度第 4 四半期
1 位	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇
2 位	熟練技術者の確保難	従業員の確保難	従業員の確保難	従業員の確保難
3 位	従業員の確保難	熟練技術者の確保難	熟練技術者の確保難	熟練技術者の確保難

「材料仕入単価の上昇」を課題として挙げている事業者が最も多い状況が続いています。従業員の確保・熟練技術者の確保も厳しい状況であり、

○経営状況や今後の方針について（建設業－朝来市）

創業 5 年未満	0 件
売上・事業拡大	11 件
現状維持	13 件
事業承継への取り組み	6 件
廃業を検討	2 件

※複数回答あり

・廃業を検討（2 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	1 件
事業譲渡なども、全く考えていない	1 件

②製造業（有効調査書数：36件）

○昨年(1月～3月)と比較して、今期の業況はいかがですか？(1件未回答)

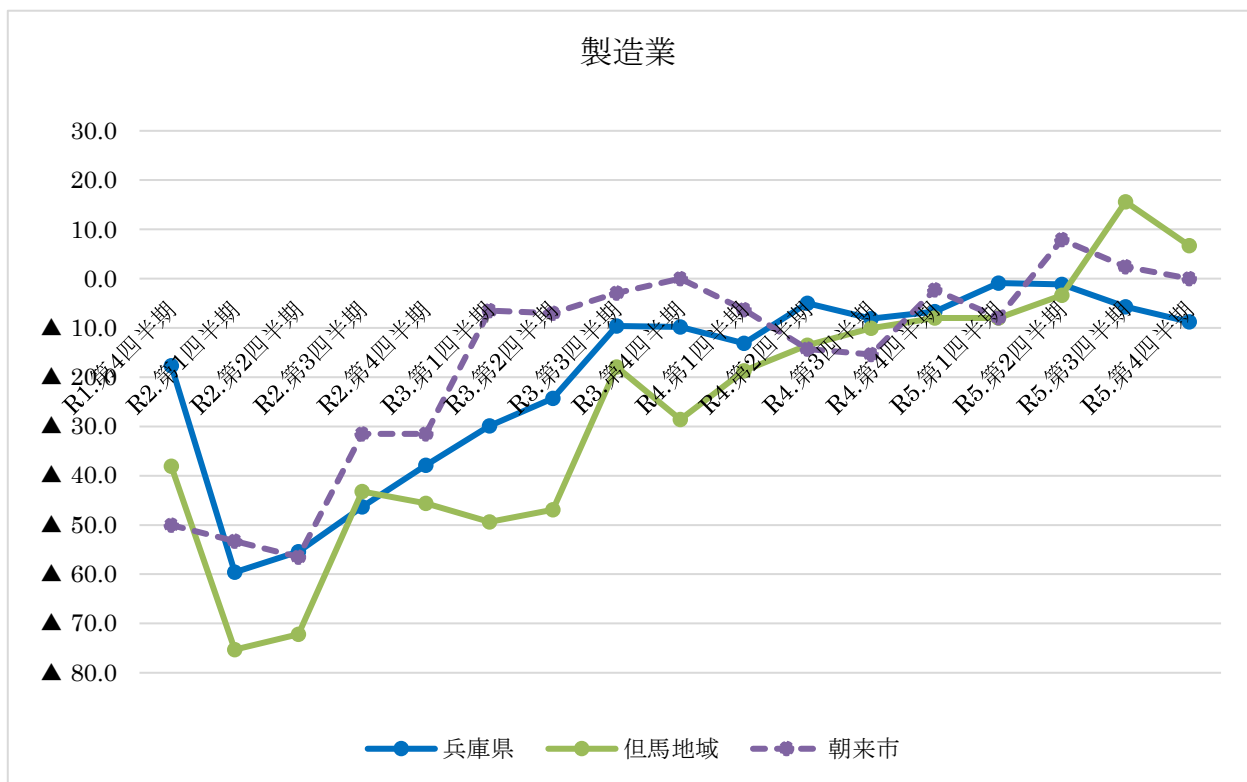
	件数	構成比
好転	7	19.4%
不変	22	61.1%
悪化	7	19.4%

「不変」との回答が多くなり、D.I. 値も若干減少となりました。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲8.8ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	6.7ポイント
朝来市	0.0ポイント

兵庫県全域のみマイナス値となり、但馬地域のD.I. 値が最も高くなっています。

○製造業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期(9～12月)、R3年1期(1～3月)の調査未実施のため、中間点を計上

建設業同様に全エリアで減少となりましたが、兵庫県全域・朝来市は大きな差は見られない結果となりました。但馬地域も減少となりましたが、D.I. 値はプラスを維持し今回調査でも最も高くなっています。

○経営上の問題点（製造業－朝来市）

	2023 年度第 1 四半期	2023 年度第 2 四半期	2023 年度第 3 四半期	2023 年度第 3 四半期
1 位	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇
2 位	人件費以外の経費の増加	従業員の確保難	人件費以外の経費の増加	人件費以外の経費の増加
3 位	従業員の確保難	人件費以外の経費の増加	従業員の確保難	従業員の確保難

「材料等仕入単価の上昇」「人件費以外の経費の増加」が連続して上位に上がっており、原材料高騰の負担に直面している事業所が増えている状況です。また人手不足が課題でありつつ、上記以外では「人件費の負担増」も回答している企業が増えています。

○経営状況や今後の方針について（製造業－朝来市）

創業 5 年未満	0 件
売上・事業拡大	14 件
現状維持	19 件
事業承継への取り組み	5 件
廃業を検討	2 件

※複数回答あり

・廃業を検討（2 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	0 件
事業譲渡なども、全く考えていない	2 件

○製造業種ごとの D. I. 値について

※複数回答を頂けた業種を 3 件掲載します。

・ 金属製品に関する製造業（金属製品、金属加工、部品製造など）

	件数	構成比
好転	3 件	30.0%
不変	3 件	30.0%
悪化	4 件	40.0%
D. I. 値	—	-10.0 ポイント

・ 食品関連の製造業（食料品、飲料、調味料など）

	件数	構成比
好転	2 件	25.0%
不変	6 件	75.0%
悪化	0 件	0.0%
D. I. 値	—	25.0 ポイント

・ 繊維製品製造業（縫製、紙器、印刷業など）

	件数	構成比
好転	0 件	0.0%
不変	3 件	60.0%
悪化	2 件	40.0%
D. I. 値	—	▲40.0 ポイント

製造業の中でも、複数回答を頂けた業種の D. I. 値を算出いたしました。金属製品に関する製造業・食品関連の製造業は D. I. 値が減少し、繊維製品の製造は回答数が少ないものの、D. I. 値は同様ですが好転と回答した企業は 0 件となりました。

③小売業（有効調査書数：42件）

○昨年(1月～3月)と比較して、今期の業況はいかがですか？(1件未回答)

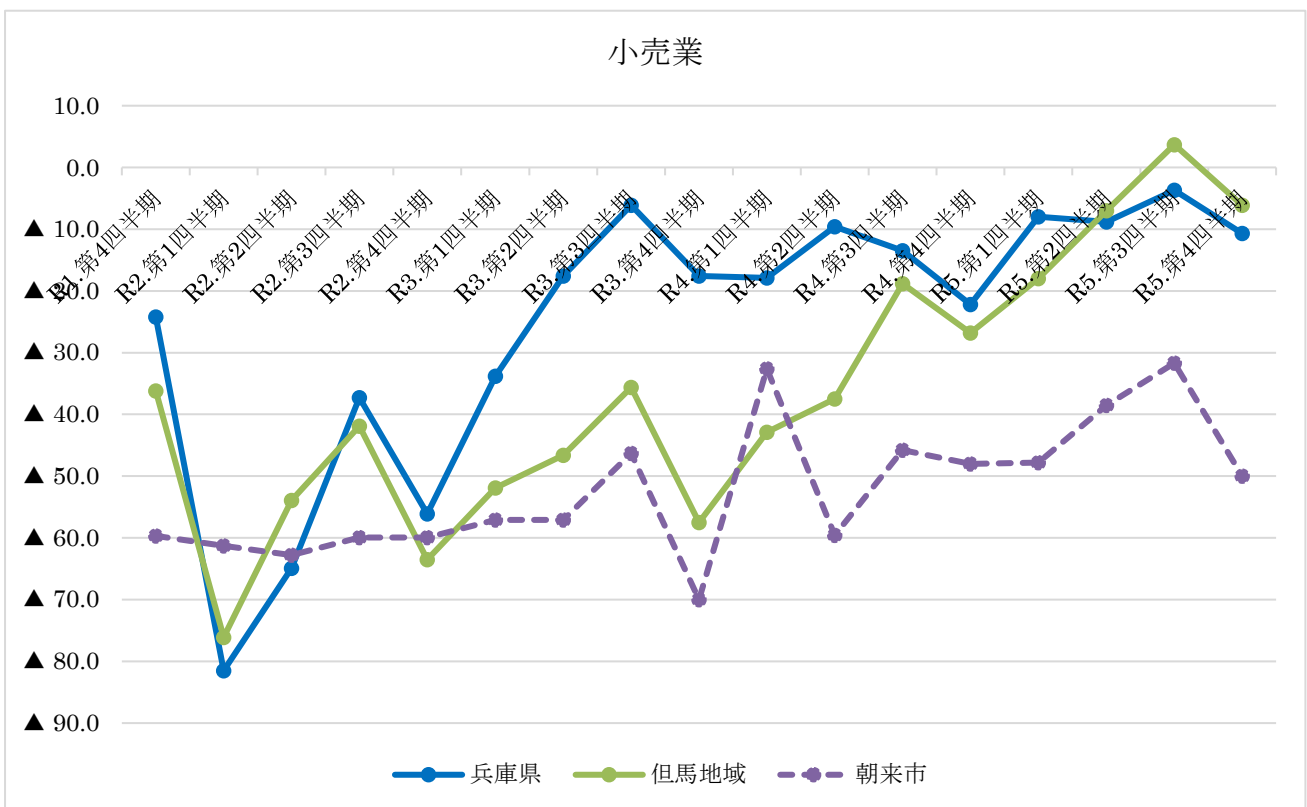
	件数	構成比
好転	1件	2.4%
不変	19件	45.2%
悪化	22件	52.4%

前回調査では D. I. 値の改善を見せましたが、今回は悪化の回答が増え減少となりました。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲10.7ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲6.1ポイント
朝来市	▲50.0ポイント

全地域でマイナス値となり、特に朝来市の数値が厳しい状況となっています。

○小売業における地域ごとの景況推移



※朝来市は R2 年 4 期 (9～12 月)、R3 年 1 期 (1～3 月) の調査未実施のため、中間点を計上

全地域でマイナス値の結果となりました。特に朝来市は最も低い結果となりつつ、前回調査から大きく減少したため、兵庫県全域・但馬地域との差が大きくなっています。

○経営上の問題点（小売業－朝来市）

	2023 年度第 1 四半期	2023 年度第 2 四半期	2023 年度第 3 四半期	2023 年度第 4 四半期
1 位	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇
2 位	利用者ニーズの変化への対応	利用者ニーズの変化への対応	利用者ニーズの変化への対応	利用者ニーズの変化への対応
3 位	需要の停滞	人件費以外の経費の増加	需要の停滞	需要の停滞

「材料仕入単価の上昇」の1位が続いていること、「利用者ニーズの変化への対応」「需要の停滞」も上位に挙がっており、売上高・利益の確保に苦戦している事業者が多いと予想されます。

○経営状況や今後の方針について（小売業－朝来市）

創業5年未満	0件
売上・事業拡大	15件
現状維持	22件
事業承継への取り組み	4件
廃業を検討	7件

※複数回答あり

・廃業を検討（7件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	0件
事業譲渡なども、全く考えていない	7件

○小売・卸売業種ごとのD.I.値について

※複数回答を頂けた業種を2件掲載します。

・織物・衣服・化粧品・身の回りの品、などの小売業

	件数	構成比
好転	0件	0.0%
不変	5件	41.7%
悪化	7件	58.3%
D.I.値	—	▲58.3ポイント

・飲食料品に係る小売・卸売業

	件数	構成比
好転	0件	0.0%
不変	4件	50.0%
悪化	4件	50.0%
D.I.値	—	▲50.0ポイント

「織物・衣服・身の回りの品、などの小売業」は若干上昇しましたが依然として厳しい数値が続いています。「飲食料品にかかる小売業、卸売業」は大きな変化がない結果となり、小売業は多くの企業が厳しい環境にあると考えられます。

また少数の回答ですが、他小売業は以下の通りとなっています。

- ・写真機・時計・眼鏡小売業…「不変」1件「悪化」1件
- ・家具・建具・畳小売業…「好転」1件、「悪化」2件

④サービス業（有効調査書数：64件）

○昨年（1～3月）と比較して、今期の業況はいかがですか？（2件未回答）

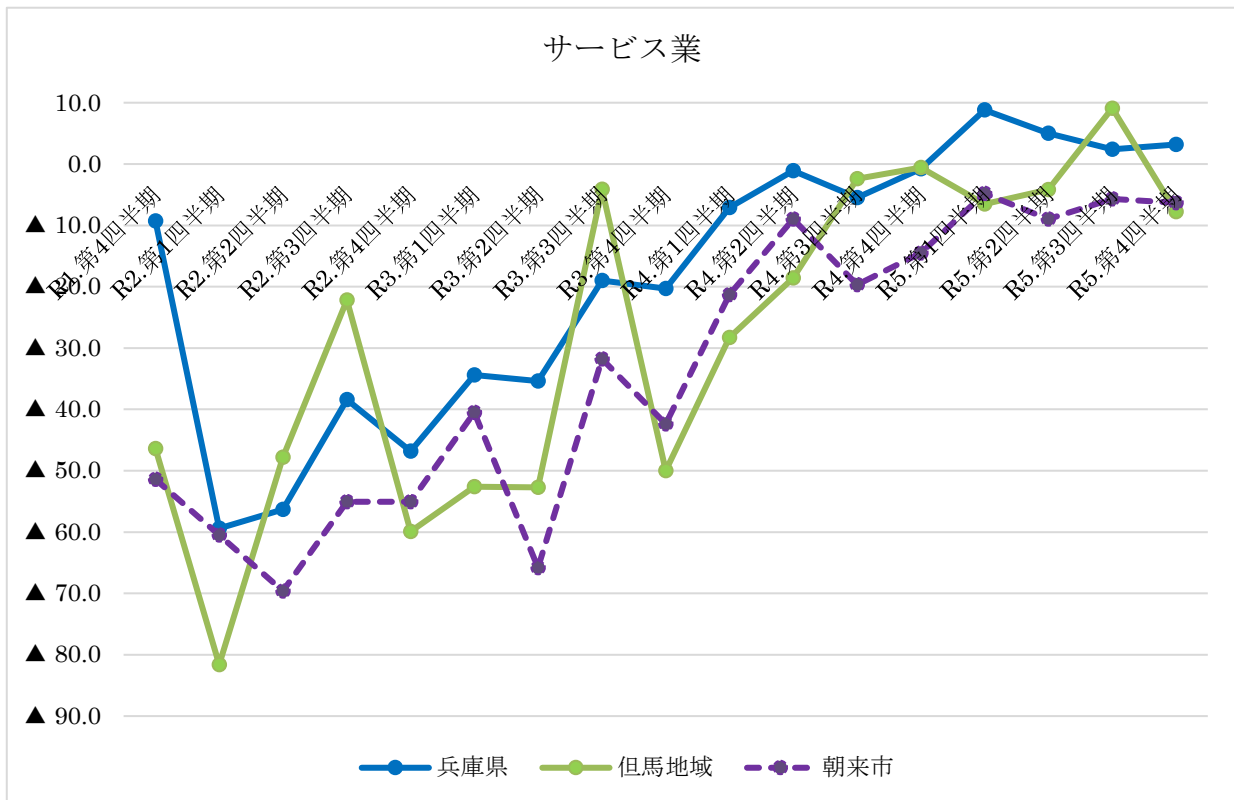
	件数	構成比
好転	10	15.6%
不変	40	62.5%
悪化	14	21.9%

D. I. 値につきましては前回調査と大きな差は無く、横ばいの結果となりました。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	3.2ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲7.8ポイント
朝来市	▲6.3ポイント

プラス値となったのは兵庫県全域のみとなりました。また若干ですが、朝来市の結果が但馬地域を上回っています。

○サービス業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期（9～12月）、R3年1期（1～3月）の調査未実施のため、中間点を計上

兵庫県全域・朝来市はほぼ横ばいの結果となり、一方で但馬地域は減少しています。製造業と同様に、D.I.値の地域ごとの差は小さい結果となりました。

○経営上の問題点（サービス業－朝来市）

	2023 年度第 1 四半期	2023 年度第 2 四半期	2023 年度第 3 四半期	2023 年度第 4 四半期
1 位	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇
2 位	店舗施設の老朽化	店舗施設の老朽化	人件費以外の経費の増加	店舗施設の老朽化
3 位	人件費以外の経費の増加	従業員の確保難	従業員の確保難	従業員の確保難

「従業員の確保難」上位に挙がってきています。左記の回答は 2023 年度の第 2 四半期（7 月～9 月）から増えてきており、新型コロナウイルス感染症の制限が撤廃されて以降、回復の一方で人手不足に直面していると考えられます。

○経営状況や今後の方針について（サービス業－朝来市）

創業 5 年未満	3 件
売上・事業拡大	26 件
現状維持	34 件
事業承継への取り組み	12 件
廃業を検討	1 件

※複数回答あり

・廃業を検討（1 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	0 件
事業譲渡なども、全く考えていない	1 件

○サービス業種ごとのD.I.値について

※飲食店、宿泊業、また複数回答を頂けた業種を2件掲載します。

・飲食店

	件数	構成比
好転	4件	40.0%
不変	3件	30.0%
悪化	3件	30.0%
D.I.値	—	10.0ポイント

・宿泊業

	件数	構成比
好転	3件	37.5%
不変	3件	37.5%
悪化	2件	25.0%
D.I.値	—	12.5ポイント

・洗濯・理容・美容・浴場業

	件数	構成比
好転	1件	10.0%
不変	7件	70.0%
悪化	2件	20.0%
D.I.値	—	▲10.0ポイント

・自動車整備サービス、運送業など

	件数	構成比
好転	2件	20.0%
不変	7件	70.0%
悪化	1件	10.0%
D.I.値	—	10.0ポイント

「飲食店」「洗濯・理容・美容・浴場業」はD.I.値が上昇を見せ、宿泊業は大きく減少する結果となりました。「自動車整備サービス、運送業」のD.I.値は前回調査と同様となりました。

(参考) 全データの集計

○経営者、事業主の年齢を教えてください

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
20代	0	0	0	0	0
30代	1	1	0	3	5
40代	4	4	6	11	25
50代	11	6	12	20	49
60代	9	16	10	19	54
70代以上	3	9	16	13	41

○朝来市商工会に望むことについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
経営全般への相談	6	6	10	12	34
補助金・助成金の相談	19	23	25	33	100
各種認定について	6	2	5	3	16
IT化について	5	3	7	11	26
税務・労務について	6	9	7	13	35
特に相談等は無し	6	5	8	16	35

○経営状況や今後の方針について教えてください

(複数回答可能)

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
創業5年未満	0	0	0	3	3
売上・事業拡大	11	14	15	26	66
現状維持	13	19	22	34	88
事業承継への取り組み	6	5	4	12	27
廃業検討	2	2	7	1	12

※廃業を検討される方

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
事業譲渡や引き渡しを検討	1	0	0	0	1
事業譲渡なども、全く考えていない	1	2	7	1	11

○雇用者数について教えてください

【正社員(正規雇用)】	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	3	5	13	21	42
1人～5人	13	10	16	27	66
6人～10人	7	1	7	5	20
11人～20人	2	5	2	5	14
21人以上	4	14	1	2	21
	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
雇い入れを増やしたい	17	14	7	16	54
適正人数である	9	15	15	22	61
雇い入れが過剰である	0	1	0	1	2
雇用していない・しない	3	5	13	19	40

【パートタイマー(アルバイト)】	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	16	8	17	23	64
1人～5人	9	16	13	29	67
6人～10人	0	4	0	10	14
11人～20人	0	3	4	2	9
21人以上	0	3	0	1	4
	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
雇い入れを増やしたい	4	7	6	15	32
適正人数である	12	20	13	29	74
雇い入れが過剰である	0	1	0	0	1
雇用していない・しない	9	6	14	18	47

○令和6年1～3月と前年同期(令和5年1～3月)を比較した状況について教えてください

		建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
業況	好転	2	7	1	10	20
	同じ	12	22	19	40	93
	悪化	15	7	22	14	58
売上	増加	3	1	0	1	5
	同じ	14	2	0	10	26
	減少	12	2	2	3	19
販売価格	増加	5	0	0	0	5
	同じ	16	0	1	2	19
	減少	8	5	1	2	16
仕入価格	下落	0	0	1	2	3
	同じ	2	5	8	13	28
	高騰	27	31	33	51	142
資金繰り	好転	1	1	3	2	7
	同じ	22	1	24	51	98
	悪化	6	4	14	10	34

○今期の経営上の問題点を教えてください(上位3つまで)

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
大企業の進出による競争の激化	0	3	6	1	10
新規参入業者の増加	1	1	3	8	13
利用者ニーズの変化への対応	5	9	19	14	47
店舗施設の老朽化	2	7	10	26	45
人件費の増加	10	11	6	13	40
人件費以外の経費の増加	9	15	10	19	53
利用料金の低下・上昇難	1	2	0	14	17
材料等仕入単価の上昇	20	23	22	31	96
金利負担の増加	0	0	1	0	1
事業資金の借入難	2	0	1	2	5
従業員の確保難	14	11	6	20	51
熟練技術者の確保難	13	7	3	11	34
需要の停滞	8	10	12	8	38
その他	0	1	2	5	8

(参考文献)

兵庫県内中小企業の景況調査／株式会社みなと銀行
但馬管内の景気動向調査／但馬信用金庫

「朝来市景況調査書」についてのお問い合わせ先

朝来市商工会

〒669-5201 朝来市和田山町和田山 404

電話：079-672-2362 FAX：079-672-4844

URL：<http://www.asago.org/> メール：shokokai@asago.org